



働く上で「必要な力」「求められる姿」

障がいのあるなしに関わらず、
すべての子供たちに
「必要な力」「求められる姿」です！

基本的な生活習慣

- 衛生習慣を獲得している。
- 整理整頓ができる。
- 時間を意識することができる。

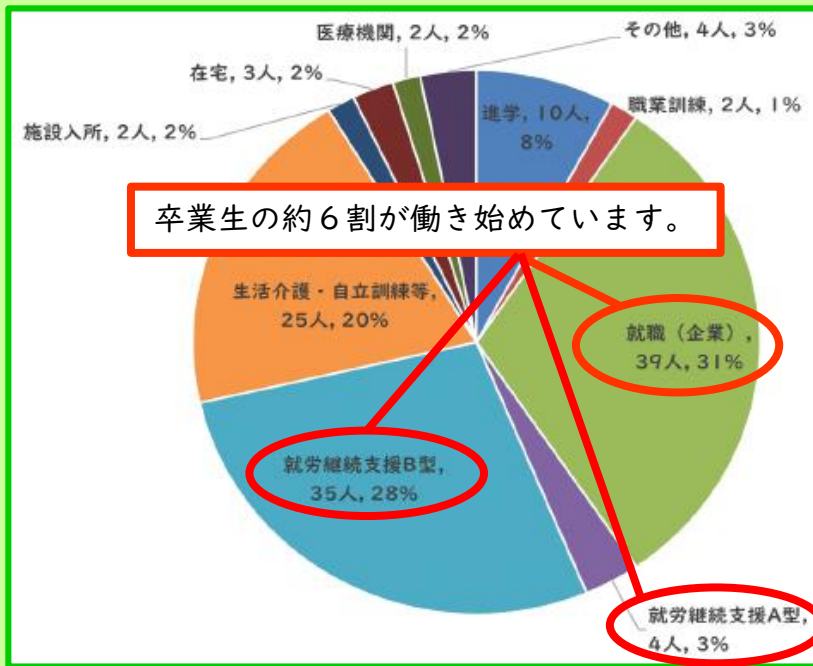
コミュニケーションの力

- 挨拶・返事ができる。
- 丁寧な言葉遣いができる。
- 報告・相談ができる。
- 自ら話しかけることができる。
- 言葉での指示が理解できる。

就労先や進路指導担当者等からいただいた御意見を参考に、
働く上で「必要な力」「求められる姿」についてまとめました。

【特別支援学校高等部・専攻科卒業者の進路】

(令和4年3月卒業者)



元気な心と体

- 一日働き続ける体力がある。
- 働くことに意欲的である。
- 集中力がある。
- 責任感がある。

社会性(他者との関係づくり)

- ルールを守る。
- 嘘を言わない。
- 感情をコントロールすることができる。
- 自分で考えて行動できる。
- 柔軟に対応できる。
- 危機対応ができる。

「令和4年度鳥取県の特別支援教育 - 理解と啓発のために -」より
(鳥取県教育委員会特別支援教育課のホームページから御覧いただけます。)

効果的に子供たちの力を高めるためには、「**家庭との連携**」も**必要不可欠**です。
課題を共通理解した上で目標を明確にし、取り組みを進めましょう。

「活動ありき」ではなく、「**活動をとおして、どのような力を育成するのか**」を明確にすることが重要です。子供たちの現状を適切に把握し目標を明確にした上で、授業の中で意識して指導しましょう。

子供たちにとって**先生方はロールモデル**です！
働く上で必要な力の獲得につながるよりよいモデル
(言語モデル、行動モデル、思考モデル)となることを常に意識しましょう。



【参考】
R3.7月お役立ち情報

働く上で必要な力は、**学校生活の様々な場面で身に付ける**ことができることを意識しましょう。